

Web コンテンツを用いた進路学習の試行[†]

堀江 浩美*・川島 芳昭**・石川 賢**

栃木市立栃木東中学校*

宇都宮大学教育学部**

本研究では、進路学習において自分の適性と職業の関係を把握させることを目的に、学習指導システムを考案し、その効果を検証した。中学校1年生を対象に、Web上に公開されている既存のコンテンツを利用して(1)自分の適性を調べた後にそれに合った職業を調べる(自己分析先行群)、(2)興味のある職業を調べた後に自分の適性を調べる(職業調べ先行群)の2つの群を設定し、検証授業を行った。

その結果「自己分析先行群」は自分と職業の適性の関係に興味を持つ生徒が多く、「職業調べ先行群」は職業の多様性に興味を持つ生徒が多かった。

キーワード： 進路学習、適性、職業、キャリア教育、Webコンテンツ

1. はじめに

文部科学省では、キャリア教育を「児童生徒一人一人の勤労観・職業観を育てる教育」と定義している¹⁾。

また、中学校での進路学習に必要なものとして、以下のような指摘もある²⁾。

・小学校から高校まで1万2千時間も学校で過ごしているのに、子どもたちは将来の生き方や自分に向いた仕事がわからない。

・中学校の段階では、具体的な仕事よりも、「群」で職業を絞り、その群にはどんな仕事があるのかを調べさせた方がよい。

一方、進路学習において、「高校生が中学校で指導して欲しかったこと」の第1位は「自分

の特色や適性を考える学習」(51.9%)であった²⁾。

以上のことから、中学校における進路学習においては、自分の適性を知り、さらに職業との関係を把握させることが大切であると考えた。

従来、中学校の進路学習の授業として「自分を知る」活動や「職業調べをする」という活動は行われてきたが、経験上、以下のような問題点がある。

(1)「自己分析」と「職業調べ」を結びつけて指導できる教材が不足している。

(2)有料の「職業適性検査」はあるが、進路学習の中で実施する時間が確保できず、その結果を進路学習に十分に活用することができない。

(3)職業調べに関しては、図書や資料集の数に限りがあり、学習者が個別に調べることが難しい。

[†] Hiromi HORIE* Yoshiaki KAWASHIMA** and Ken ISHIKAWA** : Trial Study of Course Studying with Web Contents

* Tochigi-Higashi Junior High School, Tochigi

** Faculty of Education, Utsunomiya University

(4) 授業数の削減に伴い、進路学習の時間が十分に確保できない。

そこで、このような進路学習上の問題点を解決する方策として、次のことを考えた。

(ア)「自分の適性を知る活動」や「職業を調べる活動」を1単位時間で実施可能な学習指導システムを開発する。(問題点(1)(2)(4)に対応)

(イ) 不足しがちな図書や資料集の代替手段として既存のWebコンテンツを利用する。

(問題点(1)(3)(4)に対応)

本研究では上述した2つの方策を用いて、自分の適性と職業の関係を把握し、多様な職業について知るための、学習指導システムを作成した。そして、中学1年生を対象として試行した。

2. 適性と職業の関係

2.1 「適性と職業」について

「自分の適性と進路の関係」については、「ホランドモデル」⁴⁾や「ハーマンモデル」⁵⁾などがある。

(1) ホランドモデル⁴⁾

図1にホランドモデルを示す。

ホランドモデルとは、J.L.ホランドが職業に対する興味を、心理学的に6つ(実践的、探究的、芸術的、社会的、企業的、慣習的)に分類し、レーダーグラフとして表したものである。これにより、人の職業に対する興味の強弱を、視覚的に示すことができる。以下に、ホランドが提唱する、職業に対する興味の内容を示す。

・実践的 (Realistic)

機械や物を対象とする具体的な仕事。主な職業には機械技術者やパイロット、消防士などがある。

・探究的 (Investigative)

研究や調査のような探索的な仕事。主な職業には学者や研究者、実験技師などがある。

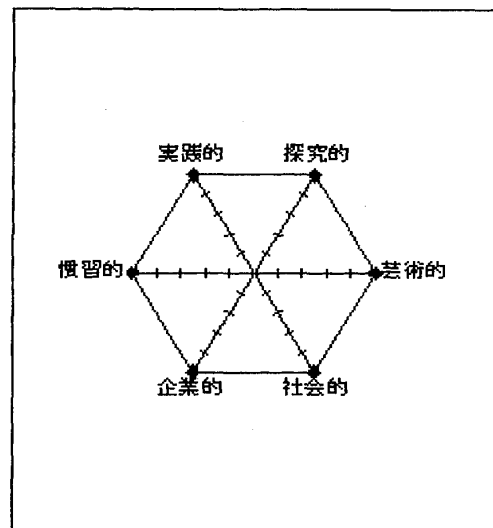


図1 ホランドモデル⁴⁾

・芸術的 (Artistic)

音楽、絵画、彫刻など芸術を対象としている仕事。主な職業には音楽家やイラストレーター、編集者などがある。

・社会的 (Social)

人と接したり、人に奉仕したりするような仕事。主な職業にはソーシャルワーカーや幼稚園教師などがある。

・企業的 (Enterprising)

企画・立案や、組織の運営などの仕事。主な職業には弁護士やホテル支配人などがある。

・慣習的 (Conventional)

定まった方式、規則、習慣を重視し、尊重しながら行うような仕事。主な職業には速記者、統計事務官、機械オペレーターなどがある。

(2) ハーマンモデル⁵⁾

図2にハーマンモデルを示す。

ハーマンモデルとは、ネッド・ハーマンが開発した個人と組織の創造性開発システムにより、人間の脳を4つの思考スタイル(分析する人、組織する人、人間関係を重視する人、視覚化する人)に区分したものである。

・「分析する人」のキーワードは「熟慮」、「事実」、「分析」であり、主な職業はエンジニア、

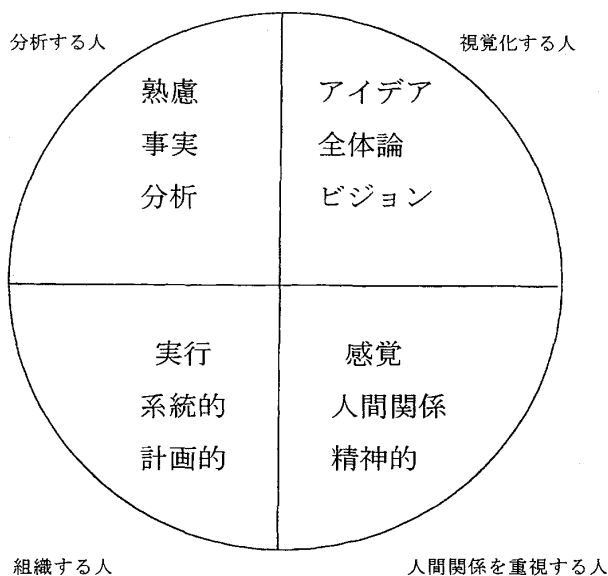


図2 ハーマンモデル⁵⁾

科学者などである。

・「組織する人」のキーワードは、「実行」、「系統的」、「計画的」であり、主な職業は記録係、経理などである。

・「人間関係を重視する人」のキーワードは、「感覚」、「人間関係」、「精神的」であり、主な職業は教員、看護師などである。

・「視覚化する人」のキーワードは、「アイデア」、「全体論」、「ビジョン」であり、主な職業は芸術家、起業家などである。

2.2 Webサイトの調査

現在、進路学習に関するいくつかのWebコンテンツが、Webサイトから提供されている。その中の、いくつかのコンテンツについて調査を行った。(表1)

その結果、以下の事がわかった。

・職業検索に関しては、多くのWebサイトが五十音別・分野別・キーワード別に検索できるシステムとなっている。また、視覚的に職業を検索する方法として、「職業マップ」がある。この検索方法を提供するWebサイトは「13歳のハローワーク」⁶⁾のみであった。

・職業に対する適性調べを行えるWebサイトは複数存在するが、適性と職業に関する解説を付けて学習者の理解を支援しているのは「キャリアマトリックス」⁷⁾のみであった。この「キャリアマトリックス」の適性検査は「ホランドモデル」をもとに作成されている。

本研究では、

(1) 自分の適性と職業の関係を把握すること
(2) 多様な職業について知ること

を目的としている。これらの目的に適していると考えられるWebコンテンツとして、「キャリアマトリックス」(自己分析と職業調べが一つのサイト内で行える)と、「13歳のハローワーク」(職業マップによって、多様な職業を視覚的にとらえことのできる)を使用することとした。

以下に、主な画面例を示す。

図3は「キャリアマトリックス」における適性検査の画面である。適性検査には「興味から職業を探す」や「ワークスタイルから職業を探す」、「スキルから職業を探す」の3種類が用意されている。本研究では、中学生の発達段階や授業時間の関係から、「興味から職業を探す」検査方法を用いることとした。

図4は適性検査の根拠となっている、ホランドモデルについて説明した画面である。このページを読ませることにより、「適性と職業の関係」について理解が深まると考えた。

図5は「13歳のハローワーク」内の「職業マップ」の画面である。多様な職業間の関係を、視覚的に把握させるために使用することにした。

3. 検証

3.1 検証の目的

本研究では、Webコンテンツを進路学習に用いて

表1 Web調査結果

| | 掲載されている職業数 | 適性調べ | 職業検索 | | | | その他の特長 |
|---------------------------|------------|------|-------|-------|---------|-------|--|
| | | | 五十音検索 | 分野別検索 | キーワード検索 | 職業マップ | |
| 職業図鑑 (A SIX Japan) | 約500種類 | × | ○ | ○ | ○ | × | 「パーソナルリンク」という、自分自身のページを作ることができる |
| 職業探検ナビネット (ベネッセ・コーポレーション) | 約160種類 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | 職業体験の感想などを書き込み、お互いに関連できる有料 |
| 未来の仕事を探せ! (学習研究社) | 約100種類 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | 「働く場所」「結婚後の働きやすさ」といった観点からも職業を検索できる |
| PASカード (図書文化グループ) | 約80種類 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | 生徒がサイトを通して質問をし、実際にその職業に就いている人からその答えをもらう事ができる |
| 夢Lend (実業之日本社) | 約80種類 | × | ○ | ○ | × | × | 「ウワサの社会科」というページで、進路や生き方に関する、現在のニュースや話題を取り上げている。 |
| キャリアマトリックス (労働政策研究・研修機構) | 約500種類 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | 「自己分析」と、その結果から導かれる適職探しが一つのサイト内で行える。 学生・社会人・教職員のためのページが別々に用意されている。 |
| 13歳のハローワーク (株式会社トップアスリート) | 約500種類 | × | ○ | ○ | × | ○ | 「職業マップ」の掲載により、視覚的に職業同士の関係が理解できる。 |

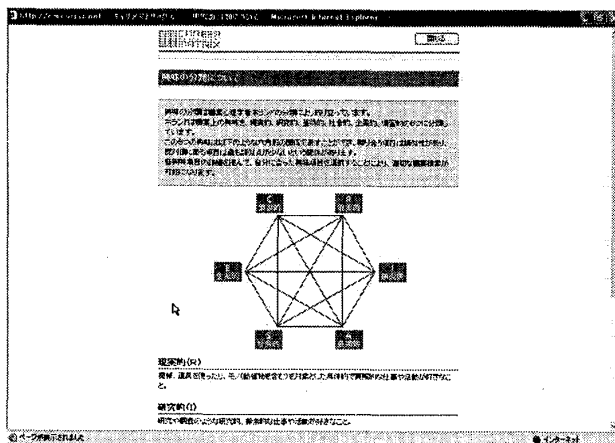


図3 「適性検査」画面例 (「キャリアマトリックス」⁷⁾ より)

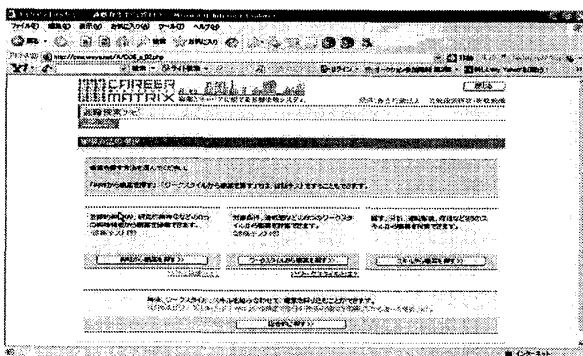


図4 「ホランドモデル説明」画面例 (「キャリアマトリックス」⁷⁾ より)



図5 「職業マップ」画面例 (「13歳のハローワーク」⁶⁾ より)

・自分の適性と職業の関係の把握
 ・多様な職業に関する興味の高まり
 等について、中学校1年生を対象に検証することを目的とした。

3.2 検証授業の概要

筆者の経験では、職業に関する進路学習の場合、自己分析を先に行い、その後職業調べを行うことが多い。しかし、この方法では、多様な職業に関する興味・関心を高めることができないという課題もある。そこで本研究では、多くの職業に関する興味・関心を高めるためには、先にたくさんの職業を知り、その後自己分析を

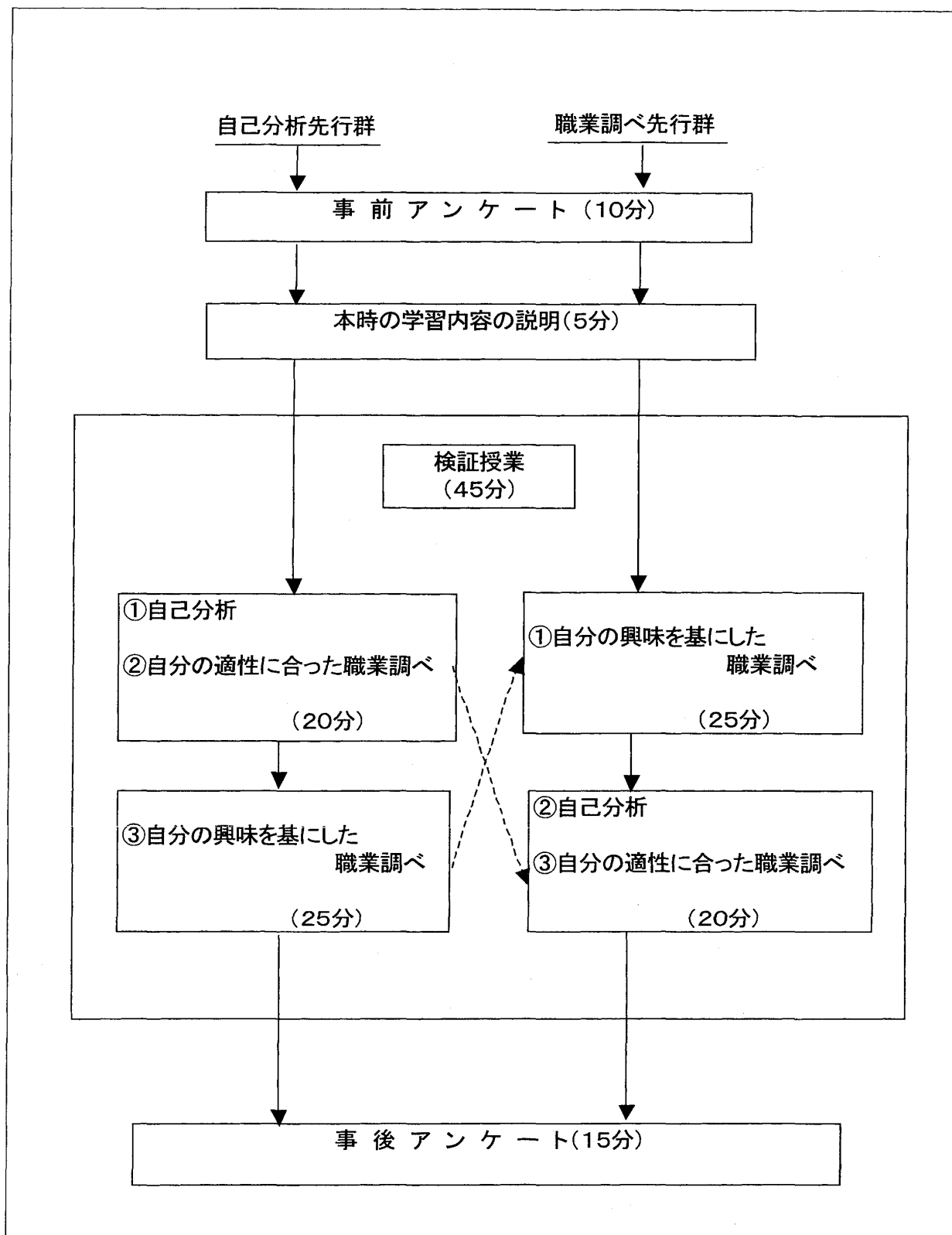


図6 学習指導システム

行わせることが有効ではないかと考えた。そこで、その検証を行うため、以下の2つの群を設定した。

(1)「自己分析先行群」(23名)

まず、適性検査による自己分析を行い、自分に適した職業を調べる。その後、自分の興味に

基づいて自由に職業調べを行う群である。

(2)「職業調べ先行群」(27名)

まず、自分の興味に基づいて自由に職業調べを行う。その後、適性検査による自己分析と自分に適した職業を調べる群である。

両群の学習指導の概要を図6に示す。

両群ともに、授業前に興味のある職業についての事前アンケート(資料1)を行う(10分)。本時の学習の説明(5分)の後、「自己分析先行群」では、最初に「キャリア・マトリックス」を用いての①自己分析、②自分に適した職業調べを行う(20分)。次に、事前にとったアンケートを基に、③自分の興味のある職業について自由に調べる(25分)。

一方、「職業調べ先行群」では、事前にとったアンケートを基に、①自分の興味のある職業について調べる(25分)。次に②自己分析と③自分に適した職業調べを行う(20分)。両群とも下校前において、授業についてのアンケート(資料3)を行い(15分)、自分の適性と職業の関係や、多様な職業に関する興味の高まりについて調査した。

4. 授業結果と考察

4.1 興味を持った職業数の推移

事前アンケート(資料1)により、「自己分析先行群」と「職業調べ先行群」とで授業の前に興味を持っていた職業数を調べ(表2)t検定によって比較した(表3)。その結果、2群間に有意差($t=1.161$, 有意水準5%)は見られなかった。この検証から、授業前での興味のある職業数については、両群は同等であると言える。

次に、自己分析先行群と職業調べ先行群のそれぞれについて、授業の後に記述された興味のある職業数を調べ(表2)、t検定によって比較した(表3)。その結果、2群間に有意差

($t=0.304$, 有意水準5%)は見られなかった。

このことから、本研究で実施した学習指導システムでは興味を持つ職業数の変容に関して、両

表2 授業前・授業後の興味のある職業数の推移

| 自己分析先行群 | | | | 職業調べ先行群 | | | |
|---------|----|----|-----|---------|----|----|-----|
| 番号 | 事前 | 事後 | 増加数 | 番号 | 事前 | 事後 | 増加数 |
| 1 | 2 | 5 | 3 | 1 | 2 | 4 | 2 |
| 2 | 2 | 4 | 2 | 2 | 2 | 12 | 10 |
| 3 | 3 | 5 | 2 | 3 | 2 | 5 | 3 |
| 4 | 4 | 8 | 4 | 4 | 5 | 10 | 5 |
| 5 | 1 | 1 | 0 | 5 | 2 | 9 | 7 |
| 6 | 5 | 10 | 5 | 6 | 2 | 4 | 2 |
| 7 | 2 | 5 | 3 | 7 | 3 | 10 | 7 |
| 8 | 3 | 5 | 2 | 8 | 3 | 9 | 6 |
| 9 | 4 | 9 | 5 | 9 | 3 | 10 | 7 |
| 10 | 3 | 6 | 3 | 10 | 2 | 3 | 1 |
| 11 | 2 | 6 | 4 | 11 | 4 | 6 | 2 |
| 12 | 3 | 4 | 1 | 12 | 3 | 5 | 2 |
| 13 | 3 | 5 | 2 | 13 | 2 | 5 | 3 |
| 14 | 2 | 5 | 3 | 14 | 1 | 3 | 2 |
| 15 | 1 | 2 | 1 | 15 | 1 | 1 | 0 |
| 16 | 3 | 4 | 1 | 16 | 1 | 2 | 1 |
| 17 | 3 | 6 | 3 | 17 | 2 | 3 | 1 |
| 18 | 6 | 9 | 3 | 18 | 3 | 7 | 4 |
| 19 | 3 | 7 | 4 | 19 | 5 | 6 | 1 |
| 20 | 3 | 3 | 0 | 20 | 2 | 3 | 1 |
| 21 | 2 | 2 | 0 | 21 | 2 | 3 | 1 |
| 22 | 2 | 3 | 1 | 22 | 2 | 6 | 4 |
| 23 | 2 | 5 | 3 | 23 | 2 | 5 | 3 |
| | | | | 24 | 3 | 5 | 2 |
| | | | | 25 | 1 | 2 | 1 |
| | | | | 26 | 4 | 6 | 4 |
| | | | | 27 | 1 | 2 | 1 |

表3 授業前・後の興味ある職業数(t検定)

| | 自己分析 先行群 | | 職業調べ 先行群 | | t 値 | 有意差 (有意水準 5%) |
|-----|-------------|------|-------------|------|-------|---------------------|
| | 職業数 の平均 | SD | 職業数 の平均 | SD | | |
| 授業前 | 2.78 | 1.20 | 2.40 | 1.12 | 1.161 | なし |
| 授業後 | 5.17 | 2.30 | 5.40 | 2.94 | 0.304 | なし |

群に差がないことがわかった。

以上の結果から、職業に関する興味の高まりは、「自己分析先行群」と「職業調べ先行群」の手順の違いによる差は見られなかった。

4.2 「適性と職業」に関する興味・関心

学習者が「適性検査」,「職業の内容や適性を調べる活動」,「いろいろな職業を大まかに見る活動」の3つの活動のうち,どれに興味を持ったのかを調査した。そのために,「授業中の活動で,一番興味を持って取り組めた活動は何か」という質問をした(図7)。その結果,自己分析先行群で60.8%,職業調べ先行群で40.7%の学習者が「職業の内容や適性を調べる活動」と回答していることがわかった。

この結果から,自己分析先行群の方が,職業調べ先行群よりも職業の内容や適性に関心を持つ生徒が多い事がわかった。これは,自己分析先行群が,職業に関する自分の適性を先に調べ,その職業を知ったことで適性と職業の関係に関する興味・関心が高まったことが要因として考えられる。

4.3 「多様な職業」に関する興味・関心

多様な職業に関する興味の高まりを,授業に関する自由な感想の記述(表4,表5)から考察した。その結果,両群とも「適性」や「職業」に関する記述の数はほぼ同じだが,「多様性」に関する記述の数は「職業調べ先行群」の方が多かった(図8,図9)。このことから「職業調べ先行群」は,より多くの生徒が「職業の多様性」に関心を持つことがわかった。これは,職業調べ先行群が,学習者自身の興味のある職業を先に調べたことにより,関連した職業にも興味が広がったことが要因として考えられる。

4.4 職業の検索方法について

職業調べを行う時の検索方法(「職業マップ」,「五十音別」,「分野別」)のうち,学習者が最も調べやすい方法を,三者択一方式で回答させた。その結果のグラフを図10に示す。その結果,両群ともに「職業マップ」を選択する学習者が最も多いことがわかった(自己分析先行群

:52.2% 職業調べ先行群:55.6%)。これは,「職業マップ」では職業間の関係を視覚的に認識できるのに対して,「五十音順」や「分野別」

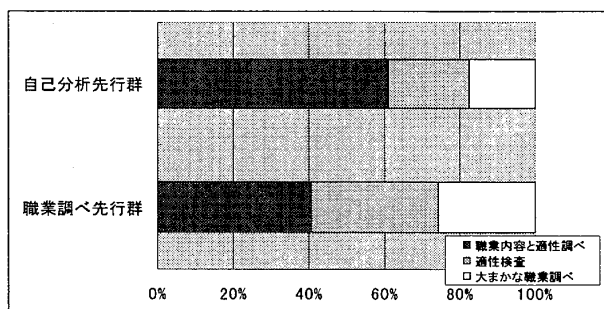


図7 授業の中で興味を持った項目

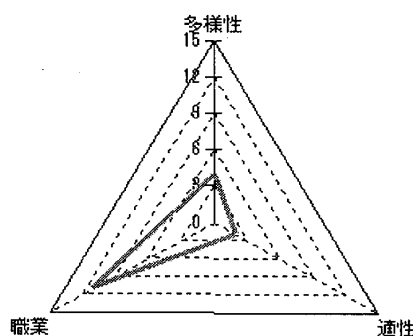


図8 授業後アンケートにおける「多様性」「職業」「適性」に関する記述の数(自己分析先行群)

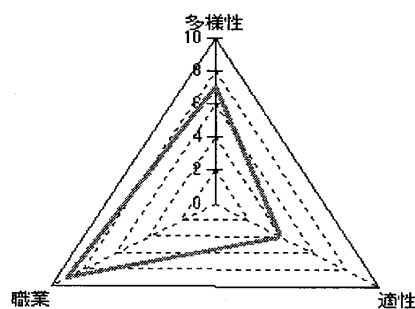


図9 授業後アンケートにおける「多様性」「職業」「適性」に関する記述の数(職業調べ先行群)

では,文字情報のみであることが要因として考えられる。

5. おわりに

本研究では,中学校の進路学習において,自

表4 「自己分析先行群」の授業後の感想(自由記述)

| 番号 | 感想(自己分析先行群) |
|----|---|
| 1 | 今まで知らなかった職業を見つけたり、自分にどんなことが向いているかわかった。またやりたい。 |
| 2 | 自分にあった職業など、いろいろわかって良かった。いろいろなことに興味がわいた。 |
| 3 | 無回答 |
| 4 | インターネットの授業で、いろいろな職業がわかった。 |
| 5 | 今まであまり職業に興味がなかったけど、今日やってみてとても楽しかった。 |
| 6 | 自分の将来の夢と自分に合っている職業が一緒だったのでうれしかった。 |
| 7 | パソコンを使ってやりたい職業を調べたので、とても楽しくやれてよくわかった。 |
| 8 | パソコンで自分の性格がわかっておもしろかった。 |
| 9 | 自分に合っている職業がわかったし、どのくらいの職業があるかわかって良かった。 |
| 10 | パソコンを使って普段あまり知らない職業を知れて良かった。 |
| 11 | 今日の授業はとても楽しかった。これからもっと調べてみたい。 |
| 12 | 自分にあった職業が見つかった良かった。 |
| 13 | 無回答 |
| 14 | 無回答 |
| 15 | 自分の興味のある職業を調べるのは楽しい。またやりたい。 |
| 16 | とても楽しかった。 |
| 17 | 私が知らない職業がわかったので楽しかった。またやりたい。 |
| 18 | パソコンであんなに詳しいことが出るとは思わなかった。またぜひやってみたい。 |
| 19 | こういう授業をしてみたいと思った。 |
| 20 | 自分の進路希望以外にもいろいろな職業がわかった。 |
| 21 | 無回答 |
| 22 | とても楽しかった。 |

分の適性と職業の関係を把握させることを目的

表5 「職業調べ先行群」の授業後の感想(自由記述)

| 番号 | 感想(職業調べ先行群) |
|----|---|
| 1 | 今まで知らない仕事がたくさんあって、とても勉強になった。またこういう授業がしたい。 |
| 2 | 自分にあった職業が見つかってびっくりした。 |
| 3 | いろいろな職業を見つけて良かった。一番驚いたのはミズなんとかとかいうやつです。 |
| 4 | 無回答 |
| 5 | パソコンを使った授業はとても楽しかった。 |
| 6 | 進路のことがいろいろわかり、いい学習だった。 |
| 7 | 前まで知らなかったことや、なんだこれと思った職業がマップや解説を見ておもしろいと思い、楽しかった。 |
| 8 | いろいろな職業がわかって楽しかった。 |
| 9 | やっぱり就職するには「努力あるのみだな」と思った。 |
| 10 | やりたい職業はどうやって入ればいいのかわかった。 |
| 11 | 無回答 |
| 12 | 自分にあった職業が見つかった。毎日少しずつ勉強しようと思う。 |
| 13 | 今日はとても勉強になった。 |
| 14 | 集中して楽しみながら授業ができた。またこの授業をやりたい。 |
| 15 | とても楽しかった。適職診断では、自分が興味のある職業が出てきて良かった。またこのような授業をやりたい。 |
| 16 | いろいろな職業を見つけられ、興味を持った。 |
| 17 | 今まで考えたことがなかったので迷ったけれど、少し見つかったような気がした。 |
| 18 | パソコンを使ってやったのが楽しかった。家でもやってみたい。 |
| 19 | いろいろな職業があって迷った。自分の進路を決めて、それに組み組みたい。 |
| 20 | 普段パソコンはあまり使わないけれど、職業のことを調べるのはおもしろい。 |
| 21 | 夢を実現させるためにがんばろうと思った。 |
| 22 | いろいろな職業が見られて楽しかった。自分にあった職業が意外でびっくりした。見ておもしろそうだと思った。 |
| 23 | パソコンを使ってとても楽しかった。やり方もよくわかって使いやすかった。 |
| 24 | 今まで知らなかった職業や内容を知ることができて良かった。また機会があったら調べてみたい。 |
| 25 | 初めてパソコンで職業を検索して、いっぱいあったのを知ってびっくりした。ぜひまたやりたい。 |
| 26 | パソコンを使って職業などを調べて、すごく楽しかったので、またやってみたい。 |
| 27 | 新しい発見ができたので良かった。 |

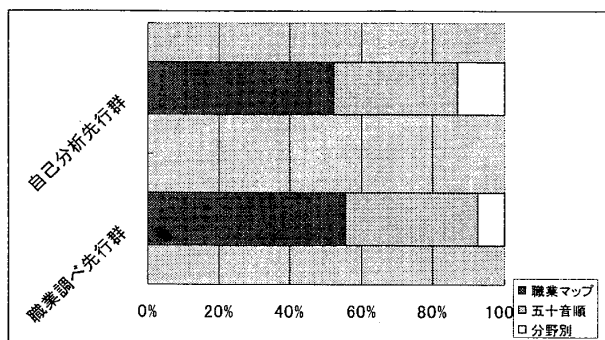


図10 授業中最も興味を持って取り組めた方法

に学習指導システムを作成し、その効果を検証した。そのため、Web上に公開されている既存のコンテンツを利用して、中学校1年生を対象に（1）自分の適性を調べた後にそれに合った職業を調べる（自己分析先行群）（2）興味のある職業を調べた後に自分の適性を調べる（職業調べ先行群）の2つの群を設定して検証授業を行った。その結果、中学1年生を対象とした場合、以下のことがわかった。

（1）興味のある職業数は、両群に差が見られなかった。

（2）「自己分析先行群」には、職業の内容・適性に興味・関心を持つ学習者が多く見られた。

（3）「職業調べ先行群」には、職業の多様性に興味・関心を持つ学習者が多く見られた。

（4）職業検索方法としては、文字情報のみよりも、職業同士の関係が視覚的に認識できる職業マップが有効である。

（5）職業調べ等で中学生がWebコンテンツを使用する場合を考えると、より平易な説明による職業紹介や、「職業マップ」のように、視覚的に職業の関係を把握できるようなコンテンツが今後望まれる。

以上のことから、職業の多様性に対する興味・関心を高めるためには、様々な職業を調べさ

せた後に自己分析させる、本研究で提案する指導方法が効果があることがわかった。

今後は、従来の進路学習の問題点をより詳細に調査し、授業方法の改善を行い、その結果を検証していきたい。

謝辞

本研究に際し、ご指導をいただきました宇都宮大学教育学部附属教育実践総合センター長 鈴木 勲先生に深く感謝いたします。ならびに、「キャリアマトリックス」の使用に際し、貴重なご助言をいただいた元宇都宮大学教授 大根田 充男先生に深く感謝いたします。

また、検証授業に際し、ご協力頂いた栃木市立栃木東中学校長 赤堀 明弘先生はじめ、同校の諸先生方に深く感謝いたします。

さらに、貴重なご助言をいただいた河内町立岡本小学校教諭 阿久津 敏克先生に感謝いたします。

参考文献

- 1) 文部科学省：キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議，2004年1月28日答申
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/023/toushin/04012801.htm
- 2) 文部省：「中学校における進路指導に関する総合的調査実態報告書」，平成11年3月
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/023/toushin/04012801/002/009/009.pdf
- 3) 仙崎武：「好奇心と興味が子供と未来を結びつける」，ベネッセコーポレーション，VIEW21 2004年4月号
- 4) ホランド著 渡辺美枝子・松本純平訳：「職業選択の理論」，雇用問題研究会，1990
- 5) ネット・ハーマン著 高梨智弘監訳：「ハーマンモデル～個人と組織の価値創造力開発」，東洋経済新報社，2000
- 6) 13歳のハローワーク公式サイト
<http://www.13hw.com/>
- 7) キャリアマトリックス
<http://cmx.vrsys.net/TOP/>

資料 1

進路学習事前アンケート
() 年 () 組 () 番 氏名 ()

①今関心のある職業は何ですか。(複数回答可)

②自分はどんな職業に向いていると思いますか。(職業名でも職業分野でもよい) また、それはなぜですか。

| 職業名 | 理 由 |
|-----|-----|
| | |
| | |
| | |

- 1 -

資料 3

【今日の授業と終えて】
() 年 () 組 () 番 氏名 ()

①自分が関心があった職業と、適性分析の結果は一致しましたか。

一致した ほぼ一致した あまり一致しなかった 一致しなかった

②適性診断の結果を見て、どう思いましたか。

③自分に合っているという結果の出た職業には、どのような適性がわかりましたか。

よくわかった わかった あまりわからなかった わからなかった

④自分の興味のある職業は、どのような適性がわかりましたか。

よくわかった わかった あまりわからなかった わからなかった

⑤授業料と比較して、自分の将来の希望に変化がありましたか。

あった 少しあった ほとんどなかった なかった

⑥これから職業に関する学習をするとき、どんなことを学習したいですか。

- 1 -

資料 2

進路学習ワークシート
() 年 () 組 () 番 氏名 ()

【あなたの性格と傾向】

☆1 自己分析の結果、通じていると結果の出た職業

| No | 職業名 | 適性 | 内容 |
|----|---------|---------------|-----------|
| | 客室乗務員 | (視力) (体力) | 飛行機の乗客の世帯 |
| 1 | () () | | |
| 2 | () () | | |

☆2 自分が興味のある職業

| No | 職業名 | 適性 | 内容 |
|----|---------|----|----|
| 1 | () () | | |
| 2 | () () | | |

- 1 -

⑦授業をおえてみて、今少しでも興味のある職業を書いてみてください。また、その理由も書いてください。(簡単でもいいです) いくつ書いても構いません。

| 職業名 | 理由 | 職業名 | 理由 |
|-----|----|-----|----|
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

⑧進路希望を実現するために、これからどんな点に力を入れていけばよいと思いますか。

⑨授業を終えての感想を、自由に書いてください。

- 2 -